川崎競馬場運転業務委託仕様書

１　目的

　　川崎競馬開催時において、他に従事する職員等と協力して公正・安全・円滑に開催するための準備及び開催補助業務などを行う。

２　業務内容

　　別紙「川崎競馬場運転業務について」のとおり

３　必要事項

　　**競走馬周辺で行う「追走車運転業務」については、危険な業務であり、馬の行動や性質を十分に理解している者を配置できること。**

　　**正月開催等を含む年64日開催日に人員を確保できること。**

４　留意事項

1. 業務中は、開催関係者の指示に従い競馬開催の妨げにならないよう注意し、「川崎競馬場運転業務について」に従い確実な業務を実施すること。

　　　特に騎手の騎乗に影響を与えないよう配慮すること。

（２）業務中は、作業者及び周囲の安全に留意するとともに業務履行場所以外においても異常を発見した場合は、速やかに報告を行うこと。

（３）場内の設備・備品は汚損・破損のないよう注意して取り扱うこと。作業員が汚損・破損してしまった場合、または既に汚損や破損のあった場合は、速やかに報告すること。

（４）作業員は、作業着を着用するとともに、貸与された通行証を携帯すること。また、作業着については、常に清潔なものを正しく着用し、身だしなみには特に注意すること。

（５）指定された時間内に完了させることに努め、それ以降の作業が必要な場合は、許可の範囲内で作業すること。

（６）その他、仕様書等に指示のない事項については、発注者の指示に従い実施すること。

５　作業用具等

1. 「川崎競馬場運転業務について」に記載された業務の履行に必要な用具等で特に指定のない場合は、受注者が確実で効率の良いものを選定する。また作業用具類や消耗品はすべて受注者の負担とする。

６　鍵の預かり及び場内の施錠・解錠について

　　受注者は業務上必要な履行場所の鍵を借り受けることとし、鍵は業務実施日の業務開始時刻から業務完了後退場するまでの間貸与される。鍵の持ち帰りや複製、関係者以外への貸与は禁止とする。また鍵を貸与されている箇所及び鍵不要の施錠可能な箇所（窓ガラスサッシ等）は受注者が開場前は解錠、閉場後は施錠することとする。

７　公正確保

業務中に知り得た情報の漏洩及び誤解を招く行為は一切禁止する。

８　作業責任者

　受注者は業務実施にあたり、適正な業務を履行するため、競馬開催に関する知識を有する作業責任者をおき、競馬開催に最大の配慮をもって作業にあたらなければならない。

川崎競馬場運転業務について

　業務は下記のとおり。

なお、記載の業務日数は令和５年度の予定日数、時間は１日あたりの概ねの業務時間（〔　〕は勤務時間）を示しており、開催毎又は日毎に変更される可能性がある。

＜開催中業務＞

１　能力調教試験追走者運転業務［２名程度］

（１）業務日数及び時間

　　　・原則、開催最終日及び指定日（１４日）　７：００～９：００〔2H〕

※時間は、当日のレース数により変動する。

（２）業務履行場所

発走地点

（３）業務内容

ア　発走地点における準備作業業務

・能力調教試験発走30分前には、内馬場噴水地点にある走路監視待機室で待機し、トランシーバーや担架等の準備確認をする。

イ　発走後の対応業務

・事故発生に備え発走地点でレースを監視する。

　　　・落馬等による事故が発生し、騎手が負傷等した場合は直ちに現場に向かい救助作業を行う。

・競走馬が負傷し、馬運車による運搬・救護が必要な場合には、きゅう務員の作業補助を行う。

ウ　その他

・公正な能力試験を実施するために必要なことがあれば、発走委員や馬場管理委員と相談のうえ業務を行う。

２　追走車運転業務［２名程度］

　　　開催中レース毎に追走車を運転し、落馬事故等が発生した場合、騎手や馬の救護等作業を行う。

（１）業務日数及び時間

　　・ナイター開催時（４９日）　１４：３０～２１：３０〔7H〕

　　・昼間開催時　　（１５日）　１０：３０～１７：３０〔7H〕

※第１レース発走60分前から最終競走終了までを基本とするが、開催毎、日毎に変更される可能性がある。

（２）業務履行場所

発走地点

（３）業務内容

ア　発走地点における準備作業業務

・発走30分前には、内馬場噴水地点にある走路監視待機室で待機し、トランシーバーや担架等の準備確認をする。

イ　発走後の対応業務

・発走５分前に、発走地点の近くに待機する。

・発走と同時に競走馬の後方100ｍ程後方を周回追走する。

・落馬等による事故が発生し、騎手が負傷等した場合は直ちに現場に向かい救助作業を行い、医務室前に搬送する。

・競走馬が負傷し、馬運車による運搬・救護が必要な場合には、その補助作業を行う。

ウ　その他

・状況に応じて発走委員、馬場管理委員と相談のうえ業務を行うこと。

３　マイクロバス運転業務［１名程度］

開催中レース毎にマイクロバスで発走に携わるきゅう務員等を馬場入口から発走地点まで送迎する。また、900ｍ、2,000ｍ、2,100ｍ競走時に発走係員を1,600ｍ付近の控室から発走地点まで送迎する。

（１）業務日数及び時間

　・ナイター開催時（４９日）　　　１３：３０～２１：３０〔8H〕

　・昼間開催時　　（１５日）　　　　９：５０～１７：５０〔8H〕

※第１レース発走60分前から最終競走終了までを基本とするが、開催毎、日毎に変更される可能性がある。

（２）業務履行場所

馬場入口及び発走地点

（３）業務内容

ア　第２コーナーマイクロバス駐車場における準備作業

・発走１時間前にマイクロバスバスの始業点検を行う。

イ　発走前の対応業務

・900ｍ、2,000ｍ、2,100ｍ競走の発走15分前に発走係員を1,600ｍ付近の控室から発走地点まで送り届ける。

・発走10分前に、馬場入口から発走に携わるきゅう務員等を発走地点まで送り届ける。

　　ウ　発走後の対応業務

・落馬等による事故が発生し、きゅう務員等が事故現場で馬を確保する必要がある場合は、事故現場まで送り届け、必要に応じて救護作業を補助する。

・競走馬が入線後、発走地点からきゅう務員等を馬場入り口に送り届ける。

・900ｍ、2,000ｍ、2,100ｍ競走終了後、きゅう務員等を馬場入り口まで送り届けた後、発走係員を発送地点から1,600ｍ付近の控室まで送り届ける。

エ　その他

　　　・状況に応じて発走委員、馬場管理委員及び係員と相談のうえ業務を行うこと。

<特記事項>

・業務履行場所により従事員と共同で業務を行う場合は、従事員と連携をとって業務を遂行するとともに従事員の指示にも従うこと。

・各業務を遂行する上で直接競走馬に触れることはないが、業務エリア内を行動中、不用意に馬に近づくと怪我をする恐れがあるので移動には十分な注意を図ること。特に追走車運転業務、能力調教試験業務など馬に接近し、触れる可能性がある業務については、馬場管理委員、発走委員及び発走係員と連携してより一層、細心の注意を払うこと。

・業務場所の広さや備品等の記載について現況と相違がある場合は、現況を優先すること。

・川崎競馬開催及び川崎競馬能力調教試験が中止となり、開催できなかった場合は、発注者と受注者は別途協議する。

・受注者は、事務・業務マニュアルを作成し、突然の欠員が発生した場合でも対応できる体制を整えておくこと。また、事務・業務マニュアルは見直し、変更があるたびに更新すること。

・受注者は、翌年度に他業者が業務を受注することとなった場合には、事務・業務マニュアルを手交したうえで実際の業務を見せるなど十分な引き継ぎを行うこと。なお、引き継ぎに要する費用は受注者が負担すること。